

Column5

自ら学ぶ姿につながるための授業

「自ら学ぶ姿につながる授業」とは、一体どんな授業なのでしょう。ある講演会で印象的な言葉がありました。「楽しくて、分からない授業」と「楽しくないが、分かる授業」、どちらが児童生徒にとって有益かということです。

一見、不適切に思える「楽しくて、分からない授業」ですが、実は児童生徒の学習意欲を掻き立て、自ら学ぶ姿勢を育む可能性を秘めています。なぜなら、分からないという疑問が生まれ、それを解決するために自ら情報を集め、考えようとする意欲が刺激されるからです。一方、「楽しくないが、分かる授業」は、確かに知識の伝達は可能かもしれませんが、児童生徒は受動的に情報を吸収するだけで、自ら学ぶ喜びや主体性を育むことは難しいでしょう。

授業改善を考える上で、この二つの対比は重要な視点となります。単に知識を教えるだけでなく、児童生徒が自ら学び、考える力を育むためには、どのようにすればよいのか、常に問い続けることが大切です。



ヨツモン